

# 平成26年度予算見積調書

課室名：みどり自然課  
 担当名：野生生物担当  
 内線：3153

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B55	鳥獣保護センター管理運営費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間		根拠法令				戦略項目		
						分野施策		
<p>1 事業の概要</p> <p>野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査及び傷病野生鳥獣の保護管理を適正に実施し、さらに人間に危害を及ぼす外来生物を駆除することにより、生物多様性保全を推進するとともに県民の生活環境を守る。</p> <p>(1) 鳥獣保護センター管理運営費 15,996千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 鳥獣保護センター管理運営費 15,996千円                  鳥獣保護センター運営を業務委託し、野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査、傷病鳥獣の保護を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>平成26年度 鳥獣保護センターでの野鳥の鳥インフルエンザ検査及び傷病鳥獣保護業務を開始する。                  平成27年度以降 センターにおける適正な野生鳥獣の保護を継続し、生物多様性の保全を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人と動物の共通感染症」による人に対する危害の防止                      高病原性鳥インフルエンザに感染している恐れがある衰弱個体の検査結果が確定するまでの期間、衰弱個体の保護収容が可能となり、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(環境省自然環境局)による検査体制が確立する。                      また、人と動物の共通感染症に感染している哺乳類を保護・収容することにより、人への感染被害を未然に防止し、県民の生活環境を守ることができる。</li> <li>・生物多様性の保全                      野鳥の高病原性鳥インフルエンザの検査及び傷病野生鳥獣の保護管理を適正に行うことにより生物多様性の保全が図られる。</li> </ul>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>県10/10</p>								
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(単位費用)                  (区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費                  (細目) 鳥獣行政費                  (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務</p>								
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.7人=6,650千円</p>								
			財 源 内 訳					
予算額							一般財源	前年との 対比
決定額	15,996						15,996	15,996
前年額								